

火 災 概 況

1 出火件数

平成 21 年中の出火件数は 74 件であり、前年に比べ 13 件増加している。

火災種別ごとの件数をみると、建物火災が 36 件で最も多く、出火件数の 48.6%を占め、林野火災 5 件 (6.8%)、車両火災 2 件 (2.7%)、船舶火災 1 件 (1.4%)、その他の火災 30 件 (40.5%) となっている。

これらの出火件数を前年と比べると、建物火災が 10 件、船舶火災が 1 件、その他の火災が 9 件増加し、林野火災が 2 件、車両火災が 5 件減少している。

2 火災の損害・死傷者の状況

平成 21 年中の建物焼損棟数は 43 棟で、前年に比べ 13 棟増加している。焼損床面積については、1,082 平方メートルで、前年に比べ 854 平方メートル増加している。また、林野火災における焼損面積は 59 アールで、前年に比べ 12 アール減少している。

平成 21 年中の火災による損害額は、48,623 千円で、前年に比べ 14,159 千円増加している。

平成 21 年中の火災による死傷者数は、死者については 4 人で、前年に比べ 2 人増加し、負傷者については 15 人で、前年に比べ 8 人増加している。

3 出火原因

平成 21 年中の出火件数 74 件のうち、たき火 (18 件)、こんろ (8 件)、火遊び (6 件)、が全体の 43.2%を占めている。また、放火及び放火の疑いを合わせると 11 件であり、全体の 14.9%を占めている。

たき火が原因による火災は前年の 15 件から 3 件増加し、放火 (放火の疑い含む) が原因による火災は前年と同じ件数となっている。